

佐倉図書館の建て替えに向けたワークショップ（第4回）

●第4回ワークショップを開催しました！

日ごとに寒さが増してきた 1 月 14 日（日）、佐倉市役所において、25 名の市民の方の参加のもと、「佐倉図書館の建て替えに向けたワークショップ（第4回）」が開催されました。

最終回となる今回はこれまでのワークショップでの意見を振り返りながら、「(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設 基本構想・基本計画(案)」を踏まえて、新たな佐倉図書館の各機能のサービスについて話し合いました。

各グループとも、最後まで白熱した議論が繰り広げられました。

第4回ワークショッププログラム

テーマ「新たな佐倉図書館についてのまとめ」

13:30 開会、挨拶

13:35 基本構想・基本計画(案)について

13:45 新佐倉図書館の主なスケジュールについて

13:50 グループワーク概要説明

13:55 グループワーク

15:25 グループワーク結果発表

15:45 講評

15:55 閉会

●ワークショップの進め方

「新たな佐倉図書館についてのまとめ」をテーマに、新たな佐倉図書館の各機能で想定するサービスに関する事務局案を基に、特に実現してほしいサービスなどについて話し合いました。



グループワークの様子①



グループワークの様子②



グループワーク結果発表



グループワーク結果①



グループワーク結果②



講評

●新たな佐倉図書館で特に実現してほしいサービスを考えました

グループで意見交換を行い、最後にグループの代表者がそれぞれの意見を発表しました。グループワークでの意見の一部を、次頁でご紹介します。

機能	特に実現して欲しいサービス	機能	特に実現して欲しいサービス		
核となる図書館機能	資料・情報の提供	2. 本市の歴史に関するサービスの提供	・本と出会える		
	・広いカテゴリーの蔵書の充実		・オーラルヒストリー 人への聞き取りにより佐倉の歴史をまとめる→図書館の事業として口承伝記等を書き起こす		
	・自分史を振り返ることのできる図書館(年代ごとのベストセラーなど)		さらなる保存機能	・デジタル化提供はとても大切 データ、プリント提供も	
	・蔵書数は多いほうが良いが書架も良い物を			・郷土資料を探しやすくして欲しい	
	課題解決支援・レファレンスの提供			・佐倉市関連もキーワード検索・タグ付け	
	・健康・予防医療についての情報発信と相談する機能			・情報収集と発信できる人材の育成と配置	
	・子育て支援 情報提供 相談窓口			・図書館機能として誰でも入れる部屋にすべき	
	・市内図書館と幼・小・中・高等学校との連携を			・活動する人と協力、人材としてまちと分散運営	
	・子どもたちが調べながら学習できる場所			3. 子育てに関するサービスの提供	
	・専門性をもったコンシェルジュ			・就学前児の集える場所でボランティアしたい	
	・相談のサービス、総合窓口があるとよい			さらなる相談機能	・ブックリストの提供は良い
	・入ってきた人に働きかける受付				・子育て中の人もメインの利用者
	佐倉図書館らしい資料・情報の提供		・高齢者など異年齢との出会い		
	・歴史を気軽に調べられる		・子どもが本に触れられるスペース		
	・説明するサービスを充実		・子どもと本の出会いの場、きっかけとしての図書館		
	・観光客、子どもが知ることのできる資料		・子育て中の保護者への一時預かりの提供は必要		
	・声をかけやすい「人」を置いてほしい		・講演会の時の託児サービスができる多目的室が欲しい		
	・観光情報、佐倉学を教えてください、繋いでくれる人		・ただ預かるだけではなく、子どもが本を好きになるような仕掛けがあったら良い		
	・司書だけでは足りないのでボランティアもアドバイスできるとよい		4. 城下町佐倉に関する展示サービスの提供		
	本や読書への興味・関心の喚起		さらなる展示機能		・本に結びつく展示→調べることを促すような展示
・図書館のニーズに合わせて講座・講演会は必要かと思う	・写真や絵で佐倉市を知ることができる				
・色々な年代が本に興味を持ってもらえるような本の紹介コーナーの充実	・図書館の立場で地域市民の記録				
・図書館だよりを発行又は発信してほしい	・古文書は図書館や保存機能(博物館)へ				
ICTの活用	・郷土資料室が必要				
・スマホ等で閲覧できる電子図書の整備	・ここに来れば佐倉の歴史、佐倉のことが分かるという場所に				
・書籍検索サイトの充実	・図書館で他にこういう展示がありますよとか、観光ルートを教えてくださいの方が良い				
・無線LAN必要	・佐倉の歴史コンシェルジュを常駐させてはどうか				
・利用の多様化 予約受取り⇒駅や商業施設できると便利	・年代毎のワークショップ				
多様な来館者への対応	5. まちの賑わい創出に貢献するサービスの提供	・展示は活動のモチベーションになるので良い			
・母と子の触れ合いの時間が取れるようなスペース 静かさを求めない		・市民カレッジだけではない他のコミュニティとのコラボ			
・ワークショップ 児童・大人対象		その他機能	・図書館-美術館等近隣文化施設との連携事業		
・グループ学習室(声を出してもよい) 子ども向け、ディスカッション			・図書館機能を中核として、他の機能は他の機関と連携して任せる		
・小学校や中学校の授業で使える図書館			・カフェ→あるならセルフカフェ		
・図書館から市民への広報が必要			・長い時間利用するなら、カフェなど飲食できる場所がほしい		
・新刊書紹介、読後感、調査の道程など			・ミニチュアの山車くらいの展示にして欲しい		
・大人のためのおはなし会(高齢者に限らず)			・小学校の授業の一部を図書館で行う		
・来たくなるホームページに			・大人の読書会(夜など)ソフトの充実		
・出張図書館サービス(ブックモバイル、出前おはなし会)					
・重い資料を閲覧場所へ運ぶためのカート					
・学習室の机上に電源、集中できる衝立					
・貸出・返却をセルフ化することで空いた手を本の紹介や図書館を使用するためのサポートをする人員にあててほしい					

◎今年度のワークショップは開催予定の全日程を終了しました。第4回までに頂いた意見を参考に市で検討を進め、「(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設基本構想・基本計画」を策定します。